

＜ヒアリング対象事業(8事業)＞

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度	平成22年度達成度	平成23年度達成度
1 行財政改革	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。(すぐ)				
	1-1	行財政改革推進本部の設置	外部評価 b	外部評価 a	外部評価 b+
			内部評価 b	内部評価 a	内部評価 b+
	1-2	事務事業評価の見直し	外部評価 b+	外部評価 b+	外部評価 a
			内部評価 b+	内部評価 b+	内部評価 a
1-3	補助事業の見直し	外部評価 b	外部評価 b+	外部評価 b	
		内部評価 b	内部評価 b+	内部評価 b	
1-4	外郭団体改革	外部評価 b	外部評価 b	外部評価 a	
		内部評価 b	内部評価 b	内部評価 a	
1-5	公共施設マネジメント会議設置	外部評価 b+	外部評価 b	外部評価 C+	
		内部評価 b+	内部評価 b	内部評価 C+	

＜ヒアリング対象事業(8事業)＞

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度	平成22年度達成度	平成23年度達成度		
1 行財政改革	すべての窓口業務を区役所で行えるようにします。(すぐ)						
	2-1	窓口改革・権限移譲<統括>	外部評価		外部評価		
			内部評価		内部評価		
	2-2	予算	外部評価		外部評価		
			内部評価		内部評価		
	2-3	組織・人事	外部評価		外部評価		
			内部評価		内部評価		
				外部評価		外部評価	
				内部評価		内部評価	
			外部評価		外部評価		
			内部評価		内部評価		

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	1-1	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。 (行財政改革推進本部の設置)	すぐ	・平成21年11月に、「行財政改革推進本部」を市長直轄組織として設置し、民間人専門家を登用します。	①行財政改革推進プランの進行管理 ②行財政改革公開審議の実施 ③行財政改革有識者会議4回開催 ④外郭団体経営改革推進委員会4回開催	①行財政改革推進プランの進行管理(△白書作成、行財政改革市民モニター制度創設) ②行財政改革公開審議の実施 ③行財政改革有識者会議4回開催 ④外郭団体経営改革推進委員会2回開催	b+	・数値目標等のとおり推進することができたので「b」と判断した。 ・有識者会議及び任期付採用の民間人の知見を活用し白書を公表することができたこと。また、市民との協働により行財政改革を進めるため市民モニター制度を創設したことから、加点しました。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	設置した事により。
河西委員	b	各分野、専門家有識者に入っただき、緊張感のもと取り組んでください。
木島委員	b+	目標通りの進捗。行政改革による削減等については数値も把握でき進捗が分かりやすい。なお、市民モニター制度創設を取り組み工夫として加点とするが、この制度がどのように、かつどの程度貢献しているのか効果がわかりにくく、次年度ではその効果を明確にしたい。
栗原委員	b+	—
須藤委員	b+	標準どおりの進捗だが、市民モニター制度等進行管理に工夫が見られる点プラス評価。
高木委員	b+	白書作成、行財政改革市民モニター制度創設で加点評価した。
高島委員	b+	内部評価と同じ理由です。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b+	工程表どおりの成果である。市民モニター制度の導入は市民参加の拡大である。
橋本委員	b+	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。内部評価に準じ、加点しました。
廣瀬委員	b+	内部評価と同様の理由で加点
福崎委員	b	計画通りの実施がなされた。進行管理について、具体的に何をおこなったのか(白書作成、モニター制度導入)が報告されている。活動に対する、成果報告があればいいと思う。
星野委員	b	目標通りの進捗と考えます。
町田委員	b-	行財政改革推進改革4回開催、公開審議2回開催、外郭団体経営改革推進委員会の開催など予定どおりの進捗と評価します。外郭団体経営改革の当初予定4回開催を下回ったためマイナス評価とします。
三浦委員	b+	内部評価と同様の評価とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	1-2	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。 (事務事業評価の見直し)	すぐ	・「行財政改革推進本部」において、事務事業評価の新たな評価方法等を構築し、すべての事務事業を見直し、平成24年度末までに100事業の縮小又は廃止を行います。	①見直し内容の公表の充実 ②新たな評価方法による事務事業の見直しによる事業の縮小・廃止(事業数:100事業、効果額:7億円)	①「見える改革」を推進する観点から、昨年度よりも見直し内容の公表を拡充 ②☆127事業を縮小・廃止し、その効果額は約21億円	a	・前年度の実績をベースに上方修正した数値目標(事業数:100事業、効果額:7億円)を大きく上回ったので、「a」と判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	業務の見直しであり当然と思います。	長野委員	a	目標を上回る削減額を得ている。
河西委員	b+	23年度の達成も実現したのですから24年度の目標はもっと高く設定できなかったでしょうか。	橋本委員	a	事業数・効果額ともに大幅に目標達成を評価しました。
木島委員	a	コスト削減の達成率300%(21億/7億)を評価。	廣瀬委員	a	目標を明らかに上回る成果
栗原委員	a	—	福崎委員	a	合併市として、事業の整理は最重要事項であり、目標を上回る進捗はよいと思う。
須藤委員	a	目標を超過達成しており、効果額21億円は特筆すべき。	星野委員	a	目標を上回る評価と考えます。
高木委員	a	127事業を縮小・廃止し、その効果額が約21億円で目標値を大きく上回ったため。	町田委員	b-	目標事業を上回る事業数を達成したことを評価します。 止・縮小することが行政のサービスに繋がるかを的確に判断をお願いしていただきたい。目標達成の評価をどのように反映できたのかを検証することの方が重要だと考える。
高島委員	a	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	a	内部評価と同様の評価とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	1-3	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。 (補助事業の見直し)	すぐ	・すべての補助金等について、市民ニーズの高度化・多様化など社会経済情勢の変化に対応し、公正かつ効率的な制度とするため、「聖域なき見直し」を平成22年度予算から実施します。	①「補助金等見直しメルクマール（判断基準）」に基づく再構築の継続実施 ②見直し結果の平成24年度予算への反映	①「補助金等見直しメルクマール（判断基準）」及び各局マネジメントによる補助事業の再構築の継続実施 ②見直し結果の平成24年度予算への反映	b	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	内容の見直しをしたことによる。	長野委員	b	工程表どおりの内容である。
河西委員	b	ちょっとわかりにくいのですが、引き続き指標に基づき努力してください。わずかの効果のすばらしいと思います。	橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。様々な状況を踏まえた判断基準の策定に努めていただきたい。
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	b	工程表通りの進捗
栗原委員	b	—	福崎委員	b-	メルクマールの使い方を簡単に記載していただくと良いと思う（誰が、どれを評価するのかなど）。
須藤委員	b	標準どおりの進捗と判断する。	星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。
高木委員	b	工程表のとおり進捗したため。	町田委員	b-	補助事業の見直しを継続して実施したことで、予定どおりの実施と評価します。補助事業については、予算額が縮減できたからといって効果があったとは評価ができません。補助事業を見直すことでどのような効果があるのかが明確に示されていないため評価が難しい。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	1-4	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。 (外郭団体改革)	すぐ	・平成21年7月に、「外郭団体経営改革推進委員会」を設置します。 ・平成21年度中に、「(仮称)さいたま市外郭団体改革プラン」を策定します。	①(社福)さいたま市社会福祉協議会と(財)さいたま市在宅ケアサービス公社の統合 ②(財)さいたま市都市整備公社と(財)浦和パーキングセンターの合併 ③浦和総業(株)の市保有株式の売却により外郭団体を1団体削減	①②左記の目標を達成しました。☆左記に加え、合併により、外郭団体を更に1団体削減しました。 ③☆市保有株式の売却により、外郭団体を1団体削減しました。	a	・合併と市保有株式の売却により、当初の目標である2団体を上回る4団体の外郭団体を削減したことから、進捗度を「a」と判断しました。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	a	業務内容の見直しの成果が今後の必要事項となると思う。	長野委員	a	内部評価での判断内容は妥当と考える。
河西委員	b+	aと評価するにはやっぱりわかりにくいので。妥当であり必要であり仕方のないことだとしてもあまりにも似たような名前が多いので。今はまだあたまで壊れそうになり高い評価にできません。	橋本委員	a	目標達成を評価しました。
木島委員	a	目標を上回る外郭団体の削減を評価(実績4団体/目標2団体)。	廣瀬委員	b+	前倒して進められている
栗原委員	a	—	福崎委員	a	合併市として、外郭団体の整理は最重要事項であり、目標を上回る進捗はよいと思う。
須藤委員	b+	合併による外郭団体削減の数合わせをするのではなく、事業・組織の見直し等により、真の効果を生み出す事が必要。	星野委員	a	目標を上回る評価と考えます。
高木委員	a	4団体の外郭団体を削減し、目標を大きく上回ったため。	町田委員	b-	H23目標であった3つの外郭団体の見直しを実施したことは予定どおりと評価します。計画時に示されている「外郭団体改革の基本方針」に示されている削減効果の30億円と推進したものがどの程度なのかが示されていないため。マイナス評価とします。
高島委員	a	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	a	内部評価と同様の評価とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	1-5	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。 (公共施設マネジメント会議設置)	すぐ	・平成21年度中に、基礎調査、基本方針の策定を行います。 ・平成22年度中に、「公共施設マネジメント会議」を設置します。 ・平成23年度末までに、公共施設等の効率的な管理運営を推進するため、土地を含む公有財産について、ストックマネジメントに重点を置いた「公共施設マネジメント計画」を策定します。	①平成22年度の成果について報告書を策定 ②都市関連施設と企業会計施設についての現況調査及び分析 ③公共施設マネジメント会議の意見を聴きながら公共施設マネジメント計画を策定	①公共施設マネジメント計画(平成22年度中間報告)を策定 ②△インフラを含めて調査分析し、白書を作成 ③★計画について素案を作成し、パブリック・コメントを開始	C+	・平成23年度における目標である「公共施設マネジメント計画」を策定することができなかったため「c」とした。 ・ハコモノに加え、インフラを含めた白書を作成し、毎年度更新することとしたため、加点した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C	進行計画が遅れる事により予定通りとはなっていない。	長野委員	C+	当初目標の計画策定には至らず。ハコモノ白書は一定の成果と言える。
河西委員	C	どんなことでもやり直しはできますが、時間だけはとりもげないのでこの事業はスピードとか先手とかが必要ではないでしょうか。	橋本委員	b-	調整等が必要な事業であり、時間を要することは予想できる。策定の遅れにマイナスであるが、その他は事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
木島委員	C+	計画策定が遅延だが、計画後の実施を考えた時に必要となるもの(インフラ)を必要と考えて計画にいったことを評価し加点。 プランの本質的な目標は計画後のアクションにあると思われるので、遅れている計画を策定し、H24年度取組内容記載の「アクションプラン検討」に早めに入って欲しい。	廣瀬委員	b-	時期の遅れはあるが、概ね目標に向けて進展している
栗原委員	C+	—	福崎委員	C+	内部評価の理由の通り。協議の経過を報告する白書の作成は、重要だと思う。
須藤委員	C+	「公共施設マネジメント計画」が未完成であるが、インフラに関する白書作成等、取組内容の深化が認められ、プラス評価。	星野委員	C	目標を下回る評価と考えます。
高木委員	C+	公共施設マネジメント計画を策定できなかったことから「c」評価とし、インフラを含めて調査分析し、白書を作成した点で加点評価した。	町田委員	C+	公共施設マネジメント計画を策定することが大きな目標となる。その準備はしていることが伺えるため遅れながらも実施に向けて取り組んでいると評価する。
高島委員	C+	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	C+	内部評価と同様の評価とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	2-1	すべての窓口業務を区役所で行えるようにします。 (窓口改革・権限移譲<統括>)	すぐ	・平成21年度中に、市民が参画する「区役所のあり方検討委員会」を設置します。 ・平成22年度中に、本庁・区役所・事業所等の役割分担を整理し、区役所における窓口業務の改善と区長への権限移譲の範囲を定め、平成23年度から区役所で取り扱える窓口業務を拡大します。	①区役所窓口休日開設の試行を行い、平成24年度以降、本施行を行う ②郵送請求処理センターの設置、証明書のコンビニ発行の実施に向けた検討・準備 ③区役所窓口における民間力活用の検討	①区役所窓口の休日開設の試行を踏まえ、平成24年度から原則、毎月最終日曜日に区役所窓口を開設 ②平成24年4月に郵送請求処理センターを設置、24年11月から証明書のコンビニ発行を導入することとした ③平成24年度から区民課窓口の委託化を導入	b	・概ね数値目標のとおり進捗したため「b」と判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	コンビニでの証明導入に伴う、今後の支所のあり方について検証が必要。	長野委員	b	工程表どおりの成果である。
河西委員	b	窓口が広がって便利になってありがたいです。その手数料などを新しい社会福祉や復興に当てていただけるような取り組みはできないでしょうか。	橋本委員	b	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	b	工程表通りの進捗
栗原委員	b	—	福崎委員	b	計画通りの実施がなされた。参考資料に利用者の声や反響を載せてくれると、加点評価できると思う。
須藤委員	b	1. 工程表どおりの進捗と判断する。 2. 市民の利便性向上に貢献度大だが、コスト抑制に努めることが肝要である。	星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。
高木委員	b	工程表のとおり進捗したため。	町田委員	b	窓口の休日開設の実現や民間委託による事務処理化の実現など予定どおりの実施と評価します。 市民に必要なサービスを見据え、効果的な窓口や郵送などによるサービス向上に期待したいところ。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。



## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	2-2	すべての窓口業務を区役所で行えるようにします。 (予算)	すぐ	・区の独自性・裁量性が発揮できるよう、予算制度を改革します。	・区長に予算要求権を付与	・★各区の住民ニーズに応じた区独自事業を展開する「区まちづくり推進事業」を継続	C	・平成24年度の数値目標、取組内容、工程表等に遅れが生じたため、「C」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C	予算対応や工程内容、数値目標等なじまない。	長野委員	C	当初目標の制度構築までには至らなかった。
河西委員	b	推進事業が各区さまざまでおもしろいです。ただ・？と思うような事業もあるので、各区長の個性なのか住民とのコミュニケーションによるものなのか、なんともいえません。	橋本委員	C	目標が未達のため。 法律の関係でどのような範囲までが可能なのかわかりにくい。
木島委員	C	区長への予算要求権の付与が未達。	廣瀬委員	C	区長に予算要求権を付与できないで来た基本的な理由は何か？ それによっては、調整が完了して一定枠の予算要求権が付与されたとしても、計画当初の想定していた内容とはかなりかけ離れたものにしか成らないのではないかと。
栗原委員	C	目標と実績の内容が噛み合っていない気がします。当初の目標はどうなってしまったのでしょうか？	福崎委員	d	区のまちづくり推進事業は従来の制度であり、その継続で終わるなら、プラン内容の見直しともいえるのではないかと。事前質問の回答を待って、再考。
須藤委員	C	目標未達成であり、c評価。	星野委員	C	目標に遅れが生じています。
高木委員	b	数値目標、取組内容、工程表等の達成度が低いと。	町田委員	C	区長に予算要求権が付与されていないため予定を遅れていると評価する。 区に独自性をもたせることは、それぞれの区民が望むことであるならばいいことだと思う。 事務の迅速化やサービス向上を目的として有効な施策をどんどん進めていただきたい。
高島委員	C	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	C	工程に遅れが見られる。 「1-2事務事業評価の見直し」平成24年度廃止事業一覧には、数多くの区まちづくり推進事業が記載されているが、本事業の平成23年度の主な実績に、★各区の住民ニーズに応じた区独自事業を展開する「区まちづくり推進事業」を継続とある。 政策的な整合性はとれているのか。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	2-3	すべての窓口業務を区役所で行えるようにします。 (組織・人事)	すぐ	・平成22年度末までに、区の独自性・裁量性が発揮できるよう、区長の組織や人事配置の権限を見直します。	・係編成方針の策定に取組むとともに、人事配置権限の行使を支援するための「人事評価システム」を開発し、区長に組織編制権、及び人事配置権限を付与	・★係編成方針の素案を策定するとともに、人事評価システムを開発しましたが、区長への権限の付与はできませんでした。	C	権限付与ができなかったことから「C」と判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C	人事の権限は常に業務内容や仕事状況を把握していないと出来ない。	長野委員	C	区長職への人事配置権、区役所組織編成権の配置・制度構築は未達成である。
河西委員	b	進行の遅れは合併による影響だと思います。今後はテンポよく進んでいくことを期待しています。	橋本委員	C	目標が未達のため。 法律の関係でどのような範囲までが可能なのかわかりにくい。
木島委員	C-	区長への権限の付与が未達。前年と同様の未達のためマイナス評価。	廣瀬委員	C	権限付与の遅れを勘案
栗原委員	C	—	福崎委員	d	課題の欄に、「区ごとにことなる組織では、市の業務が煩雑になる恐れ」とあるが、そもそも、区ごとに異なる組織を肯定するプランではないのか。でなければ、プラン内容の見直しともいえるのではないかと思います。 事前質問の回答を待って、再考。
須藤委員	C+	権限付与はできなかったが、人事評価システムの開発等、権限付与に向けての事務作業は進捗している点をプラス評価。	星野委員	C	目標を下回る評価と考えます。
高木委員	C	区長に組織編制権、及び人事配置権限を付与出来なかったため。	町田委員	C	権限付与がされていない実態より予定より遅れていると判断。
高島委員	C	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	C	工程に遅れが見られる。

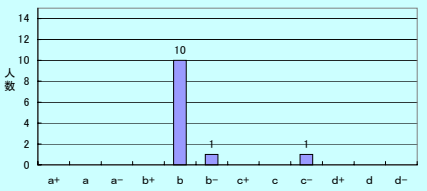
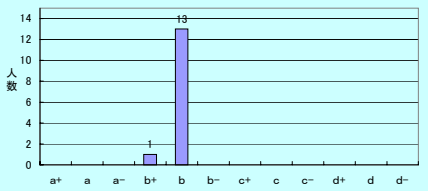
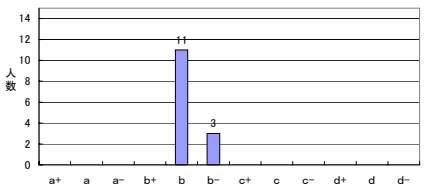
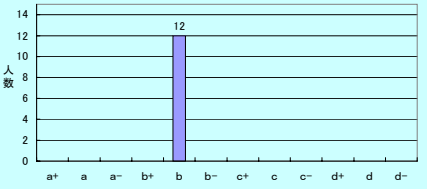
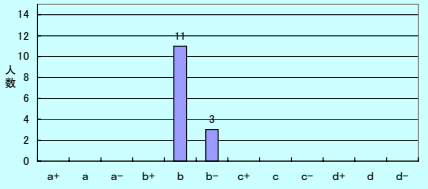
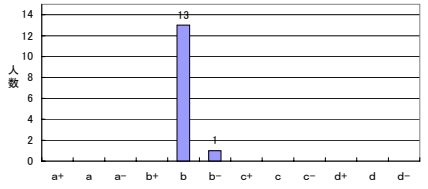
《ヒアリング対象外事業(12事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
1 行財政改革	3	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。(すぐ)	外部評価		外部評価		外部評価	
			b	内部評価	b-	内部評価	b	
			b	b-	b-			
	6	指定管理者の指定などにおける透明性を確保します。(すぐ)	外部評価		外部評価		外部評価	
			b	内部評価	b	内部評価	b	
			b	b	b			
	7	一職員一改革提案制度を創設します。(すぐ)	外部評価		外部評価		外部評価	
			c	内部評価	b+	内部評価	a	
			c	b+	a			
政令市初の予算編成過程の透明化も含め、徹底的な情報公開を行います。(すぐ)								
8-1	予算編成過程の公開	外部評価		外部評価		外部評価		
		b	内部評価	b+	内部評価	b+		
		b+	b+	b+				
情報公開日本一を実現します。(2年以内)								
9-1	情報提供体制の整備	外部評価		外部評価		外部評価		
		b	内部評価	b+	内部評価	b		
		b	b+	b				

《ヒアリング対象外事業(12事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
			外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価
1 行財政改革	9-2	都市経営戦略会議の審議内容等の公表	外部評価 b 内部評価 b		外部評価 c 内部評価 c		外部評価 C 内部評価 C	
	9-3	パブリックコメントの充実	外部評価 c 内部評価 c		外部評価 c 内部評価 c		外部評価 C 内部評価 C	
	9-4	パブリシティの推進	外部評価 b 内部評価 b+		外部評価 b 内部評価 b		外部評価 b 内部評価 b	
	9-6	市へ寄せられた意見とその対応状況の公表	外部評価 b- 内部評価 b-		外部評価 b 内部評価 b		外部評価 b- 内部評価 b-	
	行政職への民間人登用を含め、実力ある人を適材適所に配置します。(2年以内)							
	12-2	民間企業等経験者の採用	外部評価 b 内部評価 b		外部評価 b+ 内部評価 b+		外部評価 b- 内部評価 b-	

《ヒアリング対象外事業(12事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	平成21年度達成度		平成22年度達成度		平成23年度達成度	
			外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価
1 行財政改革	12-3	適材適所の人事配置	外部評価		外部評価		外部評価	
			b	内部評価	b	内部評価	b	
			b	b	b			
	13	電子市役所を構築します。(4年以内)	外部評価		外部評価		外部評価	
			b	内部評価	b	内部評価	b	
			b	b	b			

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	3	区長manifestoを全区長が策定するようにします。	すく	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度は、各区の個性を生かしたまちづくりを推進するため、各区の組織目標や各区共通の取組目標からなる区長manifestoを策定し、10月に公表します。</li> <li>平成22年度から、毎年4月に公表します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①区長manifesto及び区長manifesto評価書の作成・公表</li> <li>②外部評価(アンケート)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①区長manifesto及び区長manifesto評価書を作成・公表</li> <li>②外部評価(アンケート)を実施</li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度の目標、取組内容、工程表のとおり進捗したので、「b」と判断した。</li> </ul>

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	c	選挙で区長を決めていないので、「施政方針」を述べるべきではない。	長野委員	b	工程表どおりの内容である。
河西委員	b-	区長のmanifesto、その評価はとても重要だと思いますが、住民へ周知や浸透はどんなものかと思います。むしろそちらのほうが問題ではないでしょうか。	橋本委員	b	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
木島委員	b	目標通りの進捗。	廣瀬委員	b	工程表通りの進捗
栗原委員	b	—	福崎委員	b	計画通りの実施。区長manifesto定着のために、もっと工夫がほしい。
須藤委員	b	工程表どおりの進捗と判断する。	星野委員	b	目標通りの進捗と考えます。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。	町田委員	b	予定どおり実施していると評価
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。	三浦委員	b	工程通り進捗した。 ただし、公選制ではない区長の職責にmanifestoという仕組みがなじむのか疑問を感じる。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	6	指定管理者の指定などにおける透明性を確保します。	すく	・平成22年度から、指定管理者をすべて公募によって選定します。	①指定管理者の更新時期に合わせ、指定管理者を公募により選定します。 ②審査選定委員会小委員会に外部委員を採用し、審査を実施します。	①平成23年度は9施設すべての指定管理者を公募により選定しました。 ②公募を実施した9施設すべての審査選定小委員会に外部委員を採用し、審査を実施しました。	b	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので「b」と判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	予定通りと判断。
河西委員	b+	指定管理者の資格がよくわかりませんが、今後ほぼ全員を公募にするという姿勢がすばらしいと思います。
木島委員	b	目標通りの進捗。
栗原委員	b	—
須藤委員	b-	標準どおりの進捗だが、応募数が1社（団体）のみの施設につき、複数の応募がなされるよう努力すべきであり、マイナス評価。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表どおりの内容である。
橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。今後さらに必要になる取組であると考えます。
廣瀬委員	b	工程表通りの進捗
福崎委員	b+	計画通りの実施。一括管理など、より効率的な方法を考えている点。
星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。
町田委員	b	予定どおり実施していると評価
三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	7	一職員一改革提案制度を創設します。	すぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年9月に、「一職員一改善提案制度」を創設します。</li> <li>平成24年度末までに、年間の提案件数を4,000件にします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年間の提案件数5,000件</li> <li>②庁内業務改善事例発表会「第2回カイゼンさいたまマッチ」の開催</li> <li>③全国都市改善改革実践事例発表会への参加</li> <li>④若手職員による検討グループの設置（立案5事業・実施2事業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①☆8月の強化月間等により、7,649件の改善提案報告</li> <li>②庁内業務改善発表会「第2回カイゼンさいたまマッチ」を1月に開催（県内外32団体90名参加）</li> <li>③第6回全国都市改善改革実践事例発表会へ参加し自治体間の連携を強化</li> <li>④若手職員による検討グループ立案5事業全て実施</li> </ul>	a	強化月間等により、年間の提案件数は目標を大きく上回ることができました。「第2回カイゼンさいたまマッチ」に多くの方にご観覧いただくとともに、運営面では庁内で公募した若手職員が活躍しました。さらに若手検討グループを活性化することで、制度や組織の活性化を目指しているため。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	a	身近な改善が良としたいが、市民からの提案も配慮すべきと感じる。	長野委員	b+	提案件数は目標を上回る成果である。「一職員一提案」の趣旨から、平成23年度の提案件数の全職員一人当たりの件数と、約7600件中における提案の集中度（1人で多数の提案を行っている場合があれば、その状況）を確認させていただきました。
河西委員	a	人間の発想やアイデアは無限だと思うので提案件数10000件という高い目標設定はすばらしいと思います。	橋本委員	b+	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。民間企業ではスタンダードな考え方。今後もより充実した内容になるように進めてほしい。
木島委員	a+	達成率153%（実績7,649/目標5,000）を評価。昨年度に続いて目標を大幅に上回る達成で、プランの目標も既に達成している。これらは取り組みの成果と考え加点。	廣瀬委員	a	明らかに活発に動いている
栗原委員	a	—	福崎委員	a	さいたま市職員の意識の高さに感動しました。ぜひ、一般企業の商品企画・開発チームのように、ノウハウを積んで、長く継続して欲しいと思います。
須藤委員	a	1. 職員の業務改善へのモチベーションアップが図られ、本事業は職場活性化に寄与。 2. 改善提案数の多寡を競うのではなく、提案を実務の効率化等に確実に繋げることが重要。	星野委員	a	目標を上回る評価と考えます。
高木委員	a	年間の提案件数が目標値を大幅に上回ったため。	町田委員	a	職員提案数が予定数の2倍を超えていることより予定を上回る進捗状況と判断します。職員の提案としてどのようなものがあるのかをHPなどで紹介している試みも含め市の取り組みがよくわかります。
高島委員	a	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	a	盛んに行われて結構なことである。



## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	8-1	政令指定都市初の予算編成過程の透明化も含め、徹底的な情報公開を行います。 (予算編成過程の公開)	すく	・平成22年度当初予算編成から、予算編成過程の公表を行います。	①平成24年度当初予算編成の公表 ②公表対象を拡大	①平成23年度補正予算編成及び平成24年度当初予算編成を公表 ②△全事務事業(職員人件費・予備費を除く)を公表 ③△市長査定資料の一部を公表	b+	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので「b」と判断。さらに、対象事業を全事務事業に拡大したことなどを加点点評価した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	予定通りと判断。
河西委員	b	各局それぞれがんばってください。としか評価しようがありません。
木島委員	a	プランで想定している主要事業以外も公表したことを評価。
栗原委員	b+	—
須藤委員	b	工程表どおりの進捗と判断する。
高木委員	b+	公表対象を全事務事業に拡大し、市長査定資料の一部を公表したため。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b+	当初予算に加えて、補正予算編成においても公表を実施。公開資料も拡大。
橋本委員	b	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
廣瀬委員	b+	講評対象事業の拡大が、全事務事業になったことを加点点
福崎委員	b+	全事務事業を公表したことを評価。トータルコストでの計算へ、更に進めてもらいたい。
星野委員	b+	目標通りの進捗と考えます。対象事業を全事務事業に拡大したことなどを加点点評価。
町田委員	b+	予定どおり実施していると評価
三浦委員	b+	内部評価と同様の評価とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合		H23年度達成度（内部評価）	
						達成度	評価理由		
行財政改革	9-1	情報公開日本一を実現します。 (情報提供体制の整備)	2年以内	・行政情報の積極的な「見える化」を推進するため、情報提供に関する要綱を整備し、平成22年度末までに、「広報（情報提供）マスタープラン」を策定します。	①「PRマスタープラン」に基づく情報発信事業の構築等。 ②「見える化」推進の手引き」策定。 ③「行政サービスコストの提示」（試行）の実施。 ④開示情報を電子メールにて交付を実施。	①ホームページトップページのリニューアル。出前講座の実施。 ②「見える化」推進の手引き」を策定。 ③「行政サービスコストの提示」（試行）の実施。 ④開示情報の電子交付を開始。	b	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。	

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	情報公開日本一とは何の項目についてか判断出来ない。
河西委員	b-	私自身がパソコンが苦手なのでさまざまな改善の努力でよくなっていった実感や感謝の念がぼんやりしているのですが、20年後、30年後にはそんなことはなくなって面白い歴史の流れのひとつになっているのかなとおもいます。画面で目が疲れることもなくなっていたりして。
木島委員	b	目標通りの進捗。
栗原委員	b	—
須藤委員	b	工程表どおりの進捗と判断する。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表どおりの成果である。
橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
廣瀬委員	b	工程表通りの進捗
福崎委員	b-	計画通りの実施。「見える化」=市民にとっての見やすさ、という点で、もっと工夫が欲しい。
星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。
町田委員	b	平成23年度の工程表どおりにおおむね進捗しているため予定どおりと評価する。マスタープランまでの策定に引き続き継続実施を予定しているため
三浦委員	b	工程通り進捗した。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	9-2	情報公開日本一を実現します。 (都市経営戦略会議の審議内容等の公表)	2年以内	・平成21年9月から、都市経営戦略会議の審議内容と会議資料を公表します。	・会議終了後おおむね1か月以内に審議内容と会議資料を公表する。	・★平均公表月数 2.3か月	C	公表までの進捗管理を行うなどの工夫をしたものの、目標達成に至らなかったため、「c」評価とした。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	審議内容の問題でなく、公表の時間だけでの評価は良しとしない。
河西委員	c	期間の問題よりも会議や資料の公表に積極的だとは思えません。
木島委員	c-	公表月数が二年連続の未達。評価委員会が提言した「遅延しているものに対する対策」が行えていないためマイナス評価。
栗原委員	c	—
須藤委員	c	目標と乖離があり、c評価。
高木委員	c	平均公表月数が目標値を下回ったため。
高島委員	c	内部評価と同じ理由です。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	c	目標は未達成。平成22年度も「c」評価であり、人員削減の下で、どのようにして達成するか、再構築・検討を要すると思われる。
橋本委員	c	未達の原因究明・対策を早急に講じてほしい。
廣瀬委員	c	平均公表月数が目標の二倍以上に止まっている
福崎委員	c+	通常業務をしながらの、資料作成は大変なことだと思うが、経費をかけず、もっと早められる工夫があると思う。
星野委員	c	目標を下回る評価と考えます。
町田委員	c	平成23年度の目標である29件は過去2年間の実績数を下回っていることでマイナス評価。職員のひとりひとりの情報公開への積極的な対応が求められる。内部意識改革が必要と思う。
三浦委員	c	目標達成に向けた取り組みは見られるが、達成には至っていない。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	9-3	情報公開日本一を実現します。 (パブリックコメントの充実)	2年以内	・平成22年度末までに、パブリックコメント制度要綱に基づく実施案件の平均意見提出件数を、平成20年度の51件から100件に倍増します。	①平均意見提出件数100件 ②制度研修会を9月までに1回開催	①★平均意見提出件数83件 ②制度研修会9/6開催	C	・平均意見提出件数は平成21年度31件、平成22年度48件から平成23年度83件に増えたものの、100件に増やすという目標が達成できなかったことから、進捗度を「C」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	C	意見の内容でなく、数のみの件数は意味があるのかと思う。
河西委員	C	目標達成のためにはもっと積極的にできると思います。
木島委員	d	二年連続の未達。評価委員会が提言した「遅延しているものに対する対策」が行えていない。 また、案件ごとの意見件数のバラつきが大きく、平均件数の増加は、一部の件数が多かった案件が押し上げたに過ぎない。プラン目標の本質を考えると、様々な案件で意見ができることを想定していると思われ、「大幅な遅れがある」と考えざるを得ない。
栗原委員	C	—
須藤委員	C+	目標に未達だが、逐年意見提出件数が増加している点をプラス評価。
高木委員	C	平均意見提出件数が目標値を下回ったため。
高島委員	C+	目標未達であるが様々な努力が見られるので+とした。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	C	目標は未達。平成21年度から一貫して「C」評価であり、目標の立て方への再考を要するのではないかと。
橋本委員	C	未達のため。制度の告知も必要であるが、数量的な判断だけでなく内容が充実する方が望ましいと考えます。
廣瀬委員	C	目標意見提出件数にかなり届かず
福崎委員	C	回答が誠実で具体的であると、コメント提出への意欲が促進されると思います。
星野委員	C	目標を下回る評価と考えます。
町田委員	C	平成23年度の目標である100件を下回ってことでマイナス評価。
三浦委員	C+	目標達成には至っていないものの、前年度より向上が見られることを加点要素とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	9-4	情報公開日本一を実現します。 (パブリシティの推進)	2年以内	・平成22年度までに、パブリシティの件数を約1,500件に増やします。 ・平成21年度中に、市長定例記者会見を月1回から2回に増やします。 ・平成21年度中に、教育長による定例記者会見を開始します。	①パブリシティの件数 1,500件 ②市長記者会見 年20回 ③教育長の記者会見 年6回	①パブリシティの件数 1,714件 ②市長記者会見 年20回 ③教育長の記者会見 年6回	b	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	件数を言うのではなく、何を広報すべきかが大切ではないのかと思う。
河西委員	b+	清水市長のご活躍ご健闘大変感謝しております。
木島委員	b	目標通りの進捗。 パブリシティについて、できれば件数だけでなく効果測定を行なって欲しい。件数を上回っての達成であっても効果が未知数で評価が困難。
栗原委員	b	—
須藤委員	b+	パブリシティ件数の超過達成とメディア掲載率上昇をプラス評価。
高木委員	b+	パブリシティの件数が1,714件で、目標値を14%上回ったため加点評価した。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表どおりの内容である。
橋本委員	b	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
廣瀬委員	b	アウトプット指標としては概ね達成。掲載率をもっと意識すべきではないか
福崎委員	b	パブリシティの内容、経過について詳しい報告があれば、質的加点。 事前質問の回答を待って、再考。
星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。
町田委員	b	予定どおりと判断。市長のみならず教育長の会見などについてもHP閲覧できるよう期待する
三浦委員	b	パブリシティの件数が目標値を上回っているが、震災という特殊事情もあったことが背景として考えられるので、加点要素とは見ない。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	9-6	情報公開日本一を実現します。 (市へ寄せられた意見とその対応状況の公表)	3年以内	・平成21年度中に、「わたしの提案」やタウンミーティング、各区で実施した対話集会、各団体から市長宛に提出された陳情書などの市に寄せられた意見とその対応状況をホームページで公表します。	①わたしの提案、タウンミーティング、対話集会、陳情書等の公表 ②広聴事業概要書を9月までに作成、公表	①わたしの提案、タウンミーティング、対話集会、陳情書等の公表 ②▼広聴事業概要書を12月に作成・1月公表	b-	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。広聴事業概要書の作成時期が12月になってしまったことを減点評価した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等	委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	意見を言う事は出来るが、解決策を見い出し進めて欲しい。	長野委員	b-	概要書作成・公表の年度内での遅れはあったが、それ以外は概ね工程表どおりの作業と言える。
河西委員	b+	清水市長の市民に対する思いやりに大変感謝しております。タウンミーティングに参加してみようとおもいます。	橋本委員	b-	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。他事業でも事務作業の進捗の遅れがありましたが、作業量と人員配置に関して見直しが必要ではないかと思えます。
木島委員	b	公表遅延のマイナスと内容高評価のプラスを相殺し、b評価。 広聴事業概要書の公表が遅延したのはマイナス評価。一方で、HP等で公表されている意見と対応状況は、内容や分類などがきちんとしていて、プラス評価にできる内容と考える。 結果の素晴らしい施策が時期の遅延のため高く評価できないのは残念であり、他のプランへの模範となるためにも遅延しないように進めて欲しい。	廣瀬委員	b-	公表項目自体は目標を達成。広聴事業概要書の遅れを減点
栗原委員	b-	—	福崎委員	b-	内部評価の理由の通り。公表までのスピードは大事だと思う。
須藤委員	b	提案受付件数、タウンミーティング、対話集会の参加者数等の実績があがっており、広聴事業概要書の多少の遅れはあるが、全体としてb評価。	星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。但し、広聴事業概要書の作成が12月になってしまった為、減点評価。
高木委員	b-	広聴事業概要書を12月に作成、1月に公表し、目標していた時期より遅れたため。	町田委員	b	タウンミーティングの実施と公表、公聴事業の実施など予定どおりの実施と評価
高島委員	b-	内部評価と同じ理由です。	三浦委員	b-	内部評価と同様の評価とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	12-2	行政職への民間人登用を含め、実力ある人を適材適所に配置します。 (民間企業等経験者の採用)	2年以内	・平成23年4月に、民間企業等における職務経験者の採用を5人から10人に倍増します。	①民間企業等経験者採用を10名で実施 ②教員について、「社会人特別選考」による選考試験の実施	①▼行政職で民間企業等経験者採用で7名を採用(3名辞退) ②教員について、「社会人特別選考」により2名を採用	b-	・平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。ただし、行政職について、採用選考後、3名が辞退した点を減点評価した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	業務内容の説明に理解が得られなかった事による辞退と感じる。
河西委員	b-	辞退者が出る理由がわかりません。外国人のも門戸を広げる姿勢は評価できますが、さいたま市のような首都圏に近く大きなところをはやはり警戒も対策も十分に熟慮した上で実行していただきたいと思います。
木島委員	b-	行政職7名、教員2名で概ね目標は達成と考えるが、辞退者が3名と多いためマイナス評価。辞退者は減らすことが可能と思われるので、早急に対策をたて実施して欲しい。
栗原委員	b-	—
須藤委員	b-	辞退者が多い。面接時点で入所意思を明確に確認すべきである。
高木委員	b-	行政職で民間企業等経験者採用で、3名が辞退し目標を下回ったため。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表どおりの成果であり、特に減点の必要はないと考える。但し、辞退者へは、その理由等、一定の追跡調査は必要と考える。
橋本委員	b-	概ね、事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。民間人登用の成果・変化等についても検証等が必要な時期かと思います。
廣瀬委員	b-	内部評価に同じ
福崎委員	c+	辞退者の理由もあると思われるので、10名内定されていた分を加点。
星野委員	c	目標を下回る評価と考えます。
町田委員	b	予定人員の採用数に向けて取り組んでいることが伺えるため予定どおりと評価します。採用を辞退されたことは仕方ないことと判断します。
三浦委員	b-	内部評価と同様の評価とする。

## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	12-3	行政職への民間人登用を含め、実力ある人を適材適所に配置します。 (適材適所の人事配置)	2年以内	・平成21年度中に、職員の希望、意欲を反映した庁内公募制度を導入します。 ・平成22年度から、人事評価結果を活用した人事配置を実施します。	①公募に相応しいポストを選定し庁内公募を実施 ②人事評価結果を活用した人事配置	①5ポスト(7人)について、庁内公募を実施 ②人事評価結果を活用した人事配置を実施	b	平成23年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので、「b」と判断。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	予定通りと判断。
河西委員	b-	地方への希望者が増えるようだと職員のみなさまに尊敬と感謝の念がもてるのとおもいます。
木島委員	b	目標通りの進捗。 人事評価結果をどう活用したかについての公開は難しいと思うが、これらの異動による成果(以前との比較)は測定し公表してもらいたい。 民間企業では広く行なっている施策であり、良い効果ができれば、ポストを広げるなどさらに発展させて欲しい。
栗原委員	b-	「応募ゼロ」ということは、公募にふさわしいポストを選べてないのでは？また可能であれば、ポスト選定の理由を聞きたいです。
須藤委員	b	工程表どおりの進捗と判断する。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表どおりの作業内容である。
橋本委員	b	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
廣瀬委員	b	工程表通りの進捗
福崎委員	b	応募数やPR手法など詳しい報告があれば、質的加点。
星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。
町田委員	b-	庁内公募制度を実施したという点では達成している。問題は実力ある人材を活用できているかどうかだが、その検証方法が不明確と評価。 職員へのインセンティブとしてはいい機会だと考える。
三浦委員	b	工程通り進捗した。



## 【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外事業（第5回委員会：7月12日（木）開催）

宣言分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H23年度 主な目標等	H23年度主な実績 進捗度 a の要素 進捗度 c, d の要素 取組に何らかの工夫等あり 上記 と逆の場合	H23年度達成度（内部評価）	
							達成度	評価理由
行財政改革	13	電子市役所を構築します。	4年以内	・平成22年度末までに、基幹系システムの再構築を完了し、運用コストを削減します。 ・市民サービスの充実に向けた電子市役所を構築していきます。	第三次さいたま市情報化計画に基づき、各事業原課が目標を達成できるよう、支援・進捗管理を行う。 ①新さいたま市子育てWEBの稼働 ②市民の声システムの基本計画策定完了 ③コンビニエンスストアでの証明書発行に係る設計の開始	①新さいたま市子育てWEBの稼働 ②市民の声システムの基本計画策定完了 ③コンビニエンスストアでの証明書発行に係る設計の完了	b	・平成23年度 of の取組内容や工程表のとおり進捗したので「b」と判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
伊藤委員	b	個人情報に特段の注意と限定が必要と思う。
河西委員	b	引き続き市民のためによりしくお願いいたします。電子化に魅力を感じる想像ができないので、便利さを実感して感謝したいと思います。
木島委員	b	目標通りの進捗。 ただし、すでに情報を配信、取得する方法がこれだけ広まっている中で、「行政の情報が市民に十分に伝わっていない(*)」というのはとても大きな問題と考える。他の倍増プランやさいたま市の発展にも大きく影響することで、本質的な解決(問題と捉えて)を図って欲しい。 *第三次さいたま市情報化計画の「市民に見える計画」より
栗原委員	b	—
須藤委員	b	工程表どおりの進捗と判断する。
高木委員	b	工程表通り進捗したため。
高島委員	b	工程表どおりに進捗していると判断した。

委員名	達成度	「達成度」の評価理由等
長野委員	b	工程表どおりの作業内容である。
橋本委員	b	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
廣瀬委員	b	工程表通りの進捗
福崎委員	b-	昨年、システムの構築が完了し、実際に運用してどの程度コストが削減されたか、報告があるとよいと思う。
星野委員	b	概ね目標通りの進捗と考えます。
町田委員	b	H23年度目標をすべて達成したことによる評価。 電子化によるメリットやコストバランスとの関係について市民への周知が必要。
三浦委員	b	工程通り進捗した。